

清盛通信

平成30年2月25日発行
特別養護老人ホーム
施設長

社会福祉法人 清正会
グリーンサイド清盛
清水 満正

VOL. 96

1月18日
(木)

交流会



天候に恵まれ、暖かな日差しのなか、交流会が行なわれました。二俣川小学校、万騎が原小学校、南本宿小学校の先生と生徒さん、万騎が原中学校の校長先生等、大勢の方々がご参加され、素敵なリコーダー演奏をしていただいたり、幼稚園や愛児園の振付つきで歌を歌ったり、御利用者様も大変喜ばれていました。みたらし団子を笑顔で頬張る姿を見て、また1年間お元気に過ごしていただけるよう、日々の生活のサポートをしようと感じました。皆様の無病息災と笑顔のために取り組んで参ります。

お焚き上げの残り火で炙ったお団子を食べると、その年に風をひかない、虫歯にならない等の言い伝えがあります。また、甘酒は「飲む点滴」と言われるほど栄養満点なのだそう。

どんど焼き



お焚き上げ

「どんど焼き」とは正月の松飾り・注連縄(しめなわ)・書初めなどを家々から持ち寄り、一箇所に積み上げて燃やすという日本全国に伝わるお正月の火祭り行事です。火は穢れを浄め、新しい命を生み出し、竹の爆ぜる音は災いを退け、高く上る煙に乗って正月の神様が帰ります。「どんど焼き」は祓い清めという役割と、正月に浮かれた人々を現実世界に戻す、ふたつの役割を担った行事なのです。



三ツ又



「三ツ又」の3つのお団子はそれぞれ「天」「地」「人」を表しています。これは、和の心を持つ人間が、天地に通じ、天地の動きと一体になれる時、何事も成功できると教えた言葉です。また、「天に星、地に花、人に愛」とも語られ、天地人の美しさ、素晴らしさを伝えています。



2月3日
(土)



節分の会



「鬼は外～！福は内～！！」

大きな声で福豆を撒いて、年齢の数だけ豆を食べるという厄除け行事です。地域によっては大豆を使用したり、落花生を使用したり異なるそうです。

グリーンサイド清盛では職員が鬼に扮して逃げ回り、御利用者様は大きな声で力いっぱい豆を撒き、賑わいと楽しみあいのひとときとなりました♪



皆様は恵方巻を召し上がりましたか？
恵方巻は、節分にその年の恵方を向いて無言で食すると縁起が良いとされています。





